



## 学校だより 5月号

つなぐ



## 成功の秘けつ ~準備とは~

風薰る新緑の5月。初夏の陽気に清々しい風が通る季節となりました。学校の前の銀杏並木の木々は、濃い緑の葉が鮮やかで、秋の黄葉とは異なりますが、違った趣を感じることができます。ゴールデンウィークの連休が明け、学校生活を中心とした生活リズムをつくることが大切になります。ここからがいよいよ本番。朝晩の寒暖差が大きく、晴天の日の日中は夏が来たかの陽気となっていましたが、心身ともに健康管理をしっかりと充実した学校生活を送るようにしましょう。

今、部活動でも特に運動部は高校総体の予選が始まり、高校3年生にとっては一つの区切りの時期を迎えてます。スポーツの世界ですので勝負ごとに勝ち負けがついて回りますが、今までの取組に対して、個人、またはチームで設定した目標に対して、その結果、達成することができたのか。できなかつたとしても今までの過程を振り返ることが大切になります。時間を元に戻すことはできませんが、未来をつくることはできます。たとえ後悔することがあったとしても、振り返りを大切にして、勇気をもって次のステップに踏み出してほしいと願っています。

ところで、5月21日から3日間、第1学期中間試験となります。4月の授業がスタートしてから中間試験までの間の学習のまとめ、学んできたことがしっかりと定着しているかどうか確認することが今回の試験の目的であり、定期試験は日ごろの授業に対する理解度や学習の定着度を確認し評価する大切な場であることを生徒の皆さん自覚してください。そこで今回のような試験に限らず、様々な取組に対して結果を残すために重要なことは何でしょうか。

「成功の秘訣(ひけつ)は、何よりもまず、準備すること」(ヘンリー・フォード)という言葉があります。つまり準備ですべてが決まるということです。アメリカ大リーグで活躍したイチロー選手は、「準備というのは、言い訳の材料となり得るもの排除していく、そのために考え得るすべてのことを行なっていく。」「しっかりと準備もしていないのに、目標を語る資格はない。」などと準備の重要性を語っています。イチロー選手だけではありません。偉人の言葉を調べると同じようなことを述べています。それでは物事を達成するための「準備」とはどのようなことをさすのでしょうか。物事を達成する=「ゴール」のためには目標を作ります。次に目標を達成するために行うことを具体的にした計画(P)を立てるのです。そして実際に実行(D)します。結果(C)については良くも悪くも素直に受け入れることが大切です。その上で何が良かったのか、何が悪かったのか振り返り(改善:A)をして自分を分析するのです。いわゆるPDCAサイクルを作る。学校は失敗と成功の繰り返しの場ですので、いろいろと試してみることが大切です。

間近に迫った中間試験がありますのでこの機会に準備の大切さを述べてみました。一見すると簡単にできそうですが、私たちの周りには人の心を誘惑する様々なことがあります。世の中、思うようにならないことの方が多くあります。だからこそ、いろいろな引出しをもてるよう試行錯誤することが大切になります。生徒の皆さんは基本的な習慣の一つとして自分の学習スタイルを身につけていますか。目標は少し背伸びをして達成できるものを設定し、今回の定期試験で試してみてみましょう。

※学校だよりの名前ですが、「つなぐ」としました。学校とご家庭や社会とつなぐ発信ができるように取り組みます。よろしくお願い申し上げます。